



新入生を代表し、小林愛佳さんが誓いを述べました(安代中)

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

希望を胸に学校生活始まる

市内の小・中学校で晴れやかに入学式を挙行

市内小・中学校の入学式は4月6日から8日にかけて行われ、小学校10校に137人、中学校4校に155人が入学。新入生は学校生活をスタートしました。

本年度150周年を迎える大更小の入学式では、新生活に期待を膨らませる児童61人が元気よく入場。名前を呼ばれると体育館いっぱいに大きな声を響かせました。

無事に式を終えた太田代紗知さんは「学校で図工の勉強をしたい。粘土でいろいろなものを作りたい」と笑みを浮かべました。



名前を呼ばれ、明るく元気な声で返事をする新入生(大更小)



6月の試験ほ場への定植に向け種まき作業を進める職員

100年産地へ今年も一歩

花き研究開発センターが試験用リンドウ^{はしめ}を播種

市花き研究開発センターは3月27日から29日までの3日間、(一社)安代リンドウ開発と共同で試験用リンドウの種まきを市内の育苗施設で行いました。

28日は職員9人が、種子とトレイの系統番号を確認し合いながら、準備した約400枚のトレイに丁寧に種まき作業を進めました。

センターの高橋亮係長は「品種開発では、形質が優れ株持ちの良い系統を4年かけて選抜する。1つでも良い品種候補が見つければいい」と期待を込めました。



防犯隊員や防犯協会員、岩手警察署員ら30人が、防犯を呼び掛け(4月7日、マックス・パリュ西根店前)



工藤消防団長から辞令の交付を受ける新入団員(4月11日、消防団辞令交付式)



長距離の完走を目指すハロウ校伝統のチャリティ行事「ロングダッカー」を安比校も開催(3月23日、同校)



感謝状を手にする山本さん(左)と佐々木さん(右)

行政への苦情解決に尽力

退任行政相談委員へ総務大臣から感謝状が贈呈

退任行政相談委員感謝状贈呈式は4月12日、市役所で行われ、山本富栄さん＝新町中央＝、佐々木正志さん＝松尾＝の2人に、岩手行政監視行政相談センター田村亨所長から感謝状が伝達されました。

山本さんは委員を4期8年、佐々木さんは3期6年務め、行政活動全般に対する苦情や相談に親身に対応するとともに、制度周知の啓発活動に尽力されました。

山本さんは「行政への苦情は多かったが、迅速な対応につながられた」と充実感をにじませました。



3年間の活動を振り返りながら報告する吉田隊員

卒業後も地域発展のために

4年度地域おこし協力隊活動報告会を開催

市地域おこし協力隊活動報告会は3月27日、市役所多目的ホール棟で開かれ、隊員3人が本年度の活動内容などを約50人の参加者に報告しました。

同会は市民に隊員の活動を周知し、交流や連携の活性化を図るために開催。参加者からは、今後の展望など多くの質問が寄せられました。

4月から大更コミセンで企画運営を担当する吉田裕香さんは「公私ともに多くの人に支えられた。地域のにぎわい創出に力を入れたい」と意欲を示しました。

テレビ局と協働で発信強化

在京キー局との連携で当市の知名度を高める

テレビ通販や地域創生などの事業を行う㈱テレビ東京ダイレクト(東京都、遠藤孝一社長)と市は4月5日、市役所で包括連携協定を締結しました。

両者の連携により、テレビ番組内で観光情報の発信や特産品の販売を行うほか、移住定住や起業家育成など関係人口の創出を目指していきます。

遠藤社長は「テレビの力を使い市の発展の一助になりたい。八幡平市は非常に魅力溢れた地域であり、この情報を国内外へ発信したい」と期待を込めました。



地域活性化に意欲を高める遠藤社長(左)と佐々木孝弘市長

新メンバーで上位を目指す

市内27のスポーツ少年団が集結し結団式を挙行

市スポーツ少年団結団式は4月9日、市総合運動公園体育館で行われ、団員約290人が式に臨みました。

市スポーツ少年団の小野永喜本部長は「2年ぶりに式が開催されうれしく思います。成長した姿を見せてくれるのを楽しみにしています」と期待を寄せました。

団員を代表して決意表明をした西中STスポーツ少年団の遠藤悠歩さん(西根中3年)は「県で上位の成績が残せるように頑張りたい。元気のあるチームを作り、活動を盛り上げていきたい」と決意を新たにしました。



団員一丸となって県大会を目指すと言葉を誓う遠藤さん



病気の早期発見につながる検診が大事と語る遠藤さん

保健推進員の活動が評価

遠藤一子さんが日本公衆衛生協会会長表彰

公衆衛生事業功労者への表彰が2月27日、東京都のイイノホールで行われ、市保健推進員の遠藤一子さん＝寺田＝が日本公衆衛生協会会長表彰を受賞しました。

遠藤さんは平成5年に保健推進員となり、長年にわたり住民の健康増進のための啓発や知識の普及に努めた功績が評価されたものです。

遠藤さんは「地区の皆さんの役に立てればと活動を始めました。引き続き検診の受診率が上がるように少しでも協力していきたい」と思いを込めました。



左から齋藤さん、大里さん、佐々木市長、三浦さん、ルーシーさん

漆文化に新しい風が吹く

安代漆工技術センターに新研修生3人が入所

市安代漆工技術研究センターの入所式が4月7日、安代総合支所で行われ、佐々木孝弘市長が「体調に気を付けて研修に励んでほしい」と研修生を激励しました。

式に臨んだのは専攻課程に進む齋藤志保さん、基礎課程に新しく入所する東京都出身の三浦千恵さん、青森県出身の大里奈々子さん、フランス出身のルーシー・オークさんの4人で、精密な技術に魅力を感じ研修生となったルーシーさんは「母国で漆塗りの小物を販売できるよう技術を身につけたい」と思いを込めました。

すなっぶギャラリー



4月20日で100歳を迎えられた藤村ミサさん＝畑1区＝これからもお元気で(4月20日、自宅)



安代小の低学年児童が交通安全教室で横断歩道の正しい渡り方を学びました(4月12日、荒屋新町)



市交通安全協会が児童に黄色い羽根を配布し春の交通安全を呼び掛けました(4月11日、松野小)



4年度安代漆工技術センター修了生による制作展を開催(3月30日、市役所玄関ホール)



5年度市行政連絡員会議が開かれ行政連絡員に辞書が交付されました(4月4日、市役所多目的ホール棟)